

平成 28 年度 生駒市行政改革推進委員会

第 4 回 会議録

開催日時 平成 28 年 10 月 5 日（水） 午前 9 時 30 分～午後 11 時 30 分

開催場所 生駒市役所 4 階 401 会議室

出席者

（委 員） 松岡副委員長、藤堂委員、谷中委員、塚原委員、一柳委員

（事務局） 今井総務部長、西川総務課長、山本総務課課長補佐、渡辺行政経営係長

（傍聴者） なし

欠席者 森委員長、小林委員

1 開会

2 案件

(1) 後期行動計画の取組状況の確認について

（松岡副委員長） 前回までの議論をもとに、事務局にてまとめていただいた「行政改革大綱 後期行動計画 取組状況評価報告書（案）」についてご意見をいただきたい。まず、1 ページの「1 後期行動計画の取組状況評価について」について見ていきたい。

（事務局） 昨年度から大幅な変更は無いが、平成 27 年度から「部の仕事目標」の制度がなくなったので、それに伴い文言を変更している。

（松岡副委員長） 意見等はあるか。

（各委員） 特になし。

（松岡副委員長） 「1 後期行動計画の取組状況評価について」については、事務局案どおりとする。続いて、2 ページからの「2 平成 27 年度取組状況評価結果 総括」について見ていきたい。各分野について総括のコメントが書かれている。

（事務局） 評価結果の総括としては、平成 26 年度は B 評価以上が 75% あり、「順調に取組が進められている」と記載したが、平成 27 年度は少し評価が下がっていることもあり、C 評価も含めて 81% ということで「計画的に取組が進められている」と記載している。

（谷中委員） 分母になる項目が少ないので、割合で見ると少しの変化で大きく変わってしまう。

- (松岡副委員長) あくまでも平成27年度の報告書なので、無理に昨年度分と比較しなくても良いと思う。必要であるならば、昨年度より評価が下がった理由を分野ごとに分析すれば、評価が下がっていることについて、説明がつくかもしれない。また、昨年度と基準が違うということを知るようにするならば、一定でも成果が得られており、合格ラインに達しているということで一括りにすることもできる。
- (事務局) 分野ごとに見ると、「Ⅰ 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進」と「Ⅱ 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供」が昨年度より下がっており、「Ⅲ 自立した自治体への変革」については昨年度とほとんど変わらなかった。報告書としては、あくまでも単年度の評価を記載している。
- (藤堂委員) 総括のコメントとしては単年度の評価のみで良いと思う。昨年度と比べて下がっているとか、継続して成果が見られないといったことをもし記載するならば、最後のまとめの方が良いと思う。順調に取組が進められているかどうかの判断の基準に関しては、毎年報告書を作るのであれば統一した方が良いと思う。例えば、「A評価とB評価は〇〇%、C評価を加えると〇〇%だった。」のような書き方にしてはどうか。
- (事務局) 昨年度と同じ基準で記載させていただく。来年度は、最終年度の取組状況の評価を行うので、その年度の評価だけでなく後期行動計画の期間全体の総括も行っていきたい。
- (谷中委員) 計画的に取組が進められていると思うが、年度が進むに連れて目標が底上げされていくので評価も厳しくなってしまう。このような状況を考えると、昨年度と比較するのではなく、その年の印象でしか評価はできないと思う。
- (松岡副委員長) 項目によっては、取組の成果を維持するだけで評価できるものもある。それにも関わらず目標が一人歩きしてしまっていて、取組状況が評価されていないものがある。その反面、ずっとD評価の項目もあり、それら項目については改善を要求するというようなコメントを記載した方が良いと思う。
- (谷中委員) 割合は書かない方が実情に近いイメージを抱いてもらえるのではないかと思う。
- (事務局) どの程度達成できたかということは割合で見るのが一番分かりやすいと思う。
- (松岡副委員長) 順調に取組が進められているかどうかの判断の基準としては、昨年度と同じ基準で記載していただき、評価のコメントについては昨年度については言及せず、単年度の評価のみ記載していただきたい。
- (事務局) はい。そのように修正させていただく。

(松岡副委員長) 他に意見はあるか。

(各委員) 特になし。

(松岡副委員長) 続いて「(2) 今後の課題等」について見ていきたいと思う。先ほどから議論している昨年度との比較については、この項目で記載しても良いのではないかと思う。

(事務局) 目標値については、後期行動計画の期間も残りわずかとなっているのでこのタイミングでは変更せず、次期行動計画策定のときに変更することとなる。それを踏まえると来年度の報告書に総括として記載するのが良いと思う。

(一柳委員) 行動計画の期間中に委員の交代があり、委員就任前の評価の傾向まで把握していないので、前年度に囚われずあくまでもその年度における評価を行うほうが良いと思う。

(藤堂委員) 委員会での議論も都度昨年度と比較しているわけではないので、基本的には今年度の分だけ記載すれば良いと思う。ただ、生駒市としては、データとして今までの経緯を見るために比較したデータを持っていたほうが良いと思う。「おわりに」には、細部の比較はしないまでも、昨年と比べて下がっているということは触れておいたほうが良いかもしれない。

(松岡副委員長) 昨年度との比較を入れないのであれば、今年度の議論の内容がしっかりと反映されているので、この内容で良いのではないかと思う。事務局案どおりでよろしいか。

(各委員) はい。

(松岡副委員長) 続いて、「3 平成27年度取組状況評価結果 個票」のコメントについて一つずつ見ていきたいと思う。

## 1. 行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(事務局) コメントが評価できるというものばかりで、総合評価とそぐわないので、一つ目のコメントの前に、「情報公開の満足度が目標値に達していないが、…」というような文言を追加してはどうか。

(松岡副委員長) 様々な試みは評価しているということを伝えるためには、そのような前置きがあるほうが良いと思う。また、来年度総括するとき低評価の理由が分かりやすいと思う。そのように追記していただきたい。他に意見はあるか。

(各委員) 特になし。

## 2. 情報共有の充実に向けたツールの活用

- (松岡副委員長) 意見等はあるか。
- (藤堂委員) 「…回答数が減少する可能性が高い。」と決めつけて書くのはどうかと思う。
- (松岡副委員長) 文言自体削除しても良いのではないか。
- (事務局) 削除させていただく。
- (松岡副委員長) 他に意見等はあるか。
- (各委員) 特になし。

### 3. 市民自治協議会の設立拡大と運営支援

- (松岡副委員長) 意見等はあるか。
- (藤堂委員) 「…デメリットが先行している印象がある。」の部分は表現を変えたほうが良いと思う。
- (谷中委員) 新しい組織ができることに対して、悪い印象を持っているということだと思うが、少し分かりづらい。
- (事務局) 市民自治協議会ができることのメリットが周知されていないからということも言えると思う。
- (塚原委員) 「…意義や役割が周知されていない印象がある。」としてはどうか。もしくは前段を削除するか。
- (事務局) 「市民自治協議会の意義や役割が十分に周知できていない印象があるので、…」に修正させていただく。
- (松岡副委員長) 他に意見等はあるか。
- (谷中委員) コメント欄ではないが、未達成の理由が少し分かりづらいように思う。達成したかのような印象を持たれるのではないか。
- (藤堂委員) あくまでも市民が自主的に作る組織なので、行政が理由を書くのは難しいところもある。
- (事務局) 確かに未達成の理由が書きづらいところではあるが、理由としては分かりづらい。担当課と調整し修正させていただく。

### 4. 市民、NPO など協働のパートナーへの支援

- (松岡副委員長) 意見等はあるか。
- (各委員) 特になし。

### 5. 市民政策提案制度の効果的な運用

- (松岡副委員長) 意見等はあるか。
- (事務局) コメントが評価できるというものばかりで、総合評価とそぐわないところがある。

( 谷 中 委 員 ) 提案するかどうかは市民側の問題なので、総合評価が低いからといって改善を求めるようなコメントは書かなくてもいいと思う。

( 事 務 局 ) このコメントだけではなぜ D 評価なのかが分かりづらいと思う。

( 松岡副委員長 ) 改善を求めるのではなく、目標値に至っていないということを前置きで書いていただきたい。他に意見等はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 6. 総合計画に基づく施策・事業の進行管理

( 松岡副委員長 ) 意見等はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 7. 民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用

( 松岡副委員長 ) 意見等はあるか。

( 事 務 局 ) 一つ目のコメントが説明不足なので、「平成 27 年度の実績値は 0 件だが、…」という文言を付けても良いと思う。

( 一 柳 委 員 ) 少しきつい言い方ではあるが、市民からの意見らしくて良いと思う。

( 松岡副委員長 ) そのように追記していただきたい。他に意見はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 8. 指定管理者制度の効果的運用

( 松岡副委員長 ) 意見等はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 9. 既存公共施設等の活用と長寿命化に向けた中長期的な計画策定

( 松岡副委員長 ) 意見等はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 10. 広域連携を活用した事業等による市民サービスの向上

( 松岡副委員長 ) 意見等はあるか。

( 事 務 局 ) これも、総合評価にそぐわないので、前置きとして「平成 27 年度の実績値は 0 件だが、…」という文言を追加させていただきたい。

( 松岡副委員長 ) そのように追記していただきたい。他に意見はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 11. 環境マネジメントシステムの推進による公共施設の省エネルギー化

( 松岡副委員長 ) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 12. ごみ半減プランの推進

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(藤堂委員) ごみ半減プランが順調に推進されているかどうかのコメントを書く必要がある。ごみ有料化については否が応にも実施されているので、浸透しているというコメントはそぐわないと思う。

(事務局) ごみ半減プラン全体に言及するために「家庭ごみの有料化はごみの減量に一定の効果があった。今後も半減に向けて生ごみの再資源化等により一層取り組まれない。」としてはどうか。

(谷中委員) 有料化も効果的だったが、再資源化も進んでいかなければ半減することは難しいということが分かると思う。

(松岡副委員長) そのように修正していただきたい。他に意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 13. 財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 14. 中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 15. 市税の収納対策の推進

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 16. 行政需要を踏まえた職員数の適正管理

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 17. 人件費の抑制と能力・実績を重視した給与制度の構築

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 18. 能力と意欲に応じた柔軟な任用制度の構築

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 19. 人事評価制度の効果的な運用

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 20. 職員の資質向上・能力開発の推進

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

(各委員) 特になし。

## 21. 重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営

(松岡副委員長) 一つ目のコメントの「市民の混乱を招く…」のところは少し違和感がある。

(事務局) 「組織を変更する際には、市民の混乱を招かないようにされたい。」に変更させていただく。

(松岡副委員長) 「…混乱を招かないよう周知されたい」としてはどうか。

(事務局) はい。続く「…組織変更はやむを得ない…」のところは「…必要である。」に変更させていただく。

(松岡副委員長) そうすると二つ目のコメントと重複してくるので、二つ目は削除しても良いのではないか。

(事務局) はい。二つ目のコメントは削除して一つ目のコメントを「・社会情勢に伴い、組織変更することは必要である。」と「・組織変更する際は、混乱を招かないよう市民に十分に周知されたい。」とに分けさせていただく。

(松岡副委員長) そのように修正していただきたい。他に意見はあるか。

(各委員) 特になし。

(松岡副委員長) 最後に31ページの「おわりに」について意見等はあるか。

(藤堂委員) 「…今年度で4回目の評価となる。」とあるが、今はあくまでも後期行動計画についての評価を行っているので後期についてのみ記載した方が良いのではないか？

(谷中委員) その後に「これまでの継続した取組…」とあり、評価は前期から行っているの、前期からを含めて記載しても良いと思う。

(事務局) 上の段落では「後期行動計画に基づき、行政改革の取組が進められているところである。」と記載しているので、誤解を招く可能性があるように思う。

( 藤 堂 委 員 ) 来年度に後期行動計画の総括をする際に、前期も含めて記載すれば良いのではないかと思う。

( 事 務 局 ) 今年度の報告書については、後期行動計画の評価のみ記載させていただく。

## (2) その他

(松岡副委員長) その他について事務局から連絡事項はあるか。

( 事 務 局 ) 答申書案についてご確認いただきたい。諮問事項1は「行政改革大綱の今後について」、諮問事項2は「後期行動計画の取組状況の確認について」になっている。

(松岡副委員長) 意見等はあるか。

( 各 委 員 ) 特になし。

## 3 閉会

### 【決定事項】

本日の審議内容をもとに、副委員長・事務局で文言の調整をした上で、「行政改革大綱 後期行動計画 取組状況評価報告書」を確定し、市長に答申する。